

## 木材利用システム研究会で招待講演を行いました (2023/8/21)

テーマ：防災、持続可能な森林利用、林業、林産加工、学際、産学官連携、SDGs

場 所：東京大学農学部

URL：<https://www.woodforum.jp>

2023年8月21日(月)、東京大学弥生キャンパス(大学院農学生命科学研究科・農学部)フードサイエンス棟において、木材利用システム研究会サステナビリティ部会会合が下記のプログラムの通り開催され、林業・林産加工に関わる産官学の参加者約30名に対して、原裕太助教(2030国際防災アジェンダ推進オフィス)が招待講演を行いました。

木材利用システム研究会は、東京大学農学部を事務局として、80以上の企業・団体が参画し、木材産業のイノベーションによる木材利用の拡大と、木材産業界とアカデミアの相互理解と協調の場の構築を目的に、木材の加工・流通・利用分野のマーケティング、経済評価、環境評価、政策評価などの研究、普及活動を行っている団体です。

原助教は「防災×森林×木材利用」をテーマに、災害とはなにか、気候変動による災害リスクへの影響、国際的な防災減災の潮流・SDGsとの関係、日本における防災減災の取組みと様々な社会課題(インクルージョン、地域計画等)、森林環境や木材利用と防災減災との関わりについて話題提供しました。とくに森林環境や林業・木材利用と災害の関わりでは、山林開発の歴史と現代の山林劣化の要因、河川を通じた山里海の連環、近年の林業現場での風水害、自然に根差した社会課題の解決策(NbS)や生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)・気候変動適応(EbA)の概念とアプローチ法、Eco-DRRの強み・弱み・限界、日本の消費活動によるサプライチェーンを通じた世界の生態系と災害リスクへの影響、事業者・市民として求められる準備の方向性等を、詳しく話しました。講演後には多くの質問が寄せられ、研究者・政府関係者・企業担当者らとの間で闊達な意見交換が行われました。

### プログラム

講義 「防災×森林×木材利用」 原 裕太(東北大学 災害科学国際研究所 助教)

事例紹介1:「林野庁の取組み」 熊谷有里(林野庁 林政部木材産業課 課長補佐)

事例紹介2:「日本ペレットストーブ工業会の活動について」

小林一郎(日本ペレットストーブ工業会 理事)

### 情報交換会



講演の様子



会場